

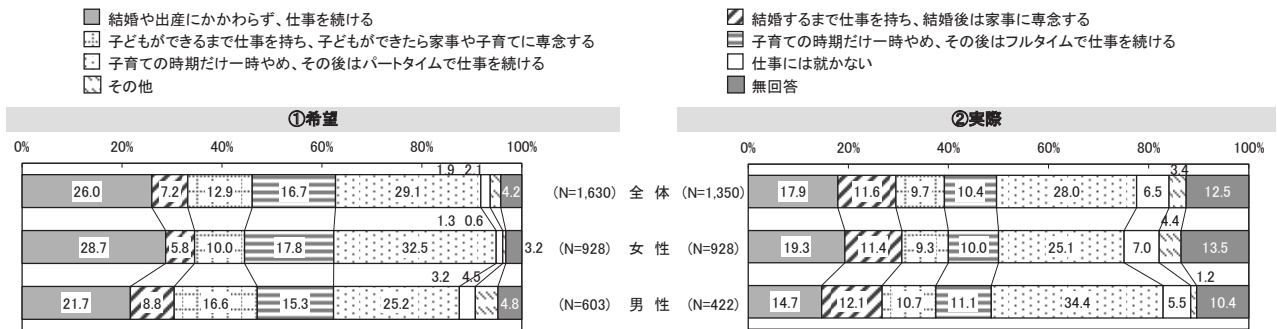
## 5 仕事について

問9 「女性の働き方」について、あなたの①希望と②実際はどれにあてはまりますか。  
(それぞれ〇は1つ)

※女性の方はご自身について、男性の方はご自身の配偶者・パートナー(女性)についてお答えください。

※配偶者・パートナー(女性)がいない男性の方は、「女性の働き方」の①希望についてのみ、お答えください。

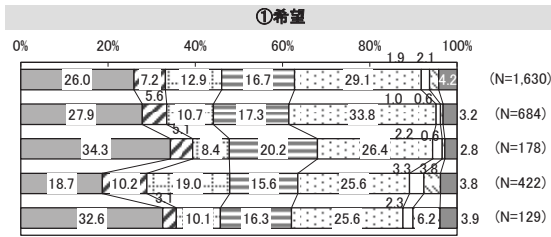
性別にみると、「女性の働き方」の希望に比べて実際は女性では「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける」「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」という3つの項目の割合が低く、「結婚するまで仕事をもち、結婚後は家事に専念する」の割合が高くなっている。



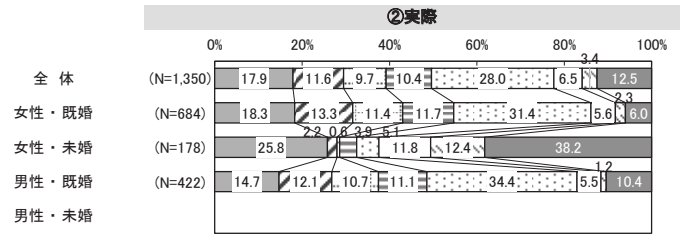
性・年代別	N=	①希望								②実際									
		結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける	結婚するまで仕事をもち、結婚後は家事に専念する	子どもができるまで仕事をもち、子どもができたら家事や子育てに専念する	子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける	子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける	仕事には就かない	その他	無回答	結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている(続けた)	結婚するまで仕事をもち、結婚後は家事に専念している(専念していた)	子どもができるまで仕事をもち、子どもができたら家事や子育てに専念している(専念していた)	子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続けている(続けた)	子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている(続けた)	仕事には就いていない	その他	無回答		
全体	1,630	26.0	7.2	12.9	16.7	29.1	1.9	2.1	4.2	1,350	17.9	11.6	9.7	10.4	28.0	6.5	3.4	12.5	
女性	29歳以下	90	34.4	6.7	4.4	21.1	30.0	1.1	1.1	1.1	90	20.0	2.2	2.2	6.7	1.1	20.0	12.2	35.6
	30歳代	101	38.6	3.0	4.0	18.8	26.7	4.0	0.0	5.0	101	29.7	3.0	7.9	5.0	23.8	5.9	4.0	20.8
	40歳代	169	33.1	6.5	11.2	12.4	32.0	0.6	1.8	2.4	169	26.6	7.1	6.5	9.5	26.0	4.1	4.7	15.4
	50歳代	179	33.0	6.7	10.6	16.2	30.2	1.1	0.0	2.2	179	19.0	12.8	6.1	12.3	34.6	2.8	3.4	8.9
	60歳代	129	27.1	4.7	14.0	20.9	28.7	0.0	0.8	3.9	129	16.3	15.5	14.7	10.9	27.9	4.7	3.9	6.2
男性	29歳以下	64	32.8	3.1	10.9	18.8	25.0	1.6	6.3	1.6	7	0.0	0.0	0.0	14.3	42.9	14.3	0.0	28.6
	30歳代	57	28.1	3.5	8.8	12.3	26.3	1.8	8.8	10.5	31	19.4	3.2	9.7	9.7	25.8	12.9	3.2	16.1
	40歳代	116	25.9	4.3	12.1	15.5	26.7	3.4	6.9	5.2	81	22.2	6.2	12.3	8.6	33.3	4.9	1.2	11.1
	50歳代	106	28.3	5.7	12.3	17.0	27.4	4.7	2.8	1.9	87	11.5	6.9	5.7	9.2	55.2	4.6	1.1	5.7
	60歳代	94	22.3	8.5	24.5	7.4	25.5	2.1	5.3	4.3	80	13.8	12.5	11.3	10.0	35.0	5.0	2.5	10.0
70歳以上	166	7.8	18.1	22.9	18.1	22.3	3.6	1.2	6.0	136	12.5	21.3	13.2	14.7	22.8	4.4	0.0	11.0	

## 【性・未既婚別】

- 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける
- ▨ 子どもができるまで仕事をもち、子どもがきたら家事や子育てに専念する
- ▨ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける
- ▨ その他

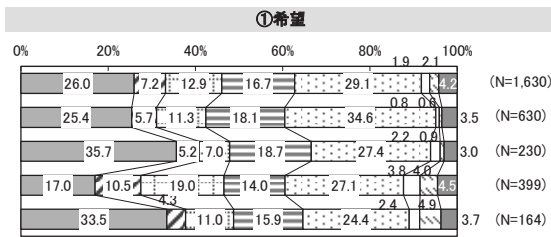


- ▨ 結婚するまで仕事をもち、結婚後は家事に専念する
- ▨ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける
- 仕事には就かない
- 無回答

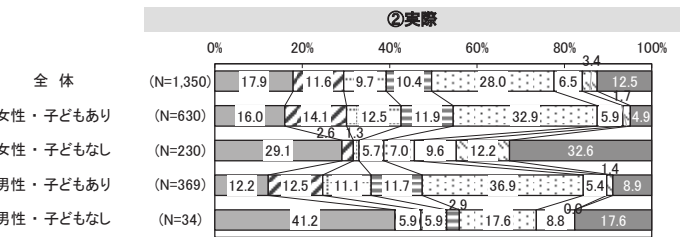


## 【性・子どもの有無別】

- 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける
- ▨ 子どもができるまで仕事をもち、子どもがきたら家事や子育てに専念する
- ▨ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける
- ▨ その他

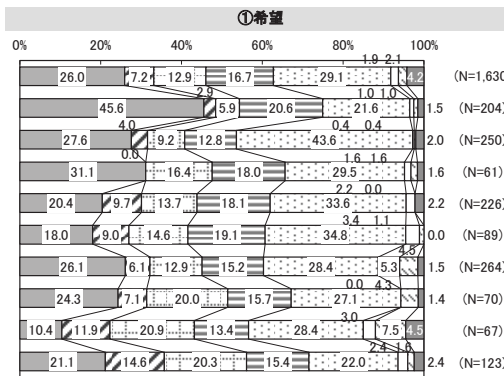


- ▨ 結婚するまで仕事をもち、結婚後は家事に専念する
- ▨ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける
- 仕事には就かない
- 無回答

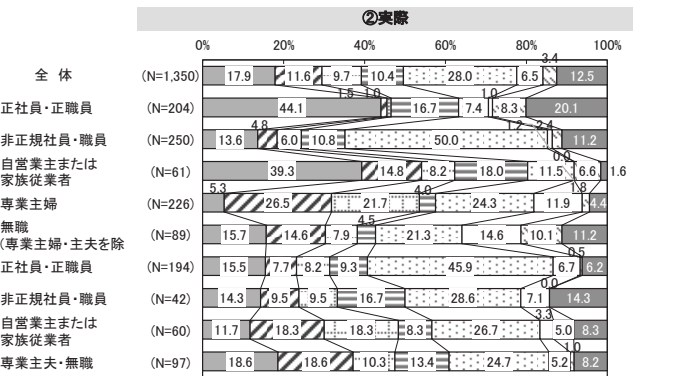


## 【性・勤務形態別】

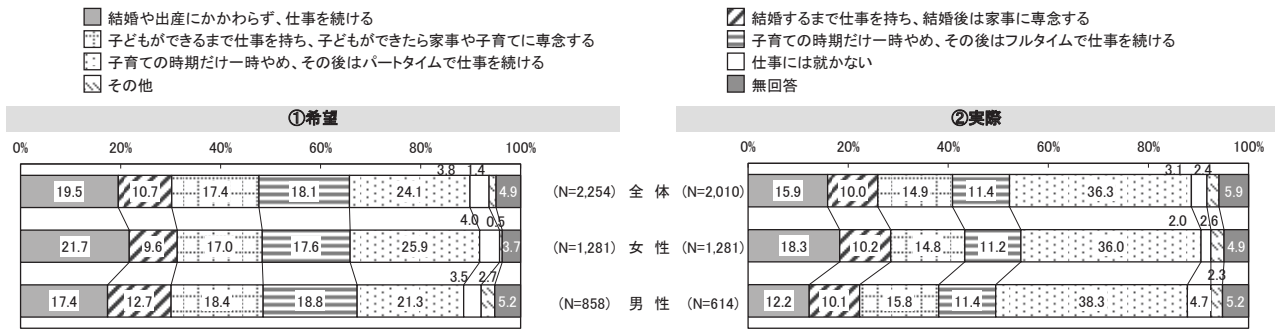
- 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける
- ▨ 子どもができるまで仕事をもち、子どもがきたら家事や子育てに専念する
- ▨ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける
- ▨ その他



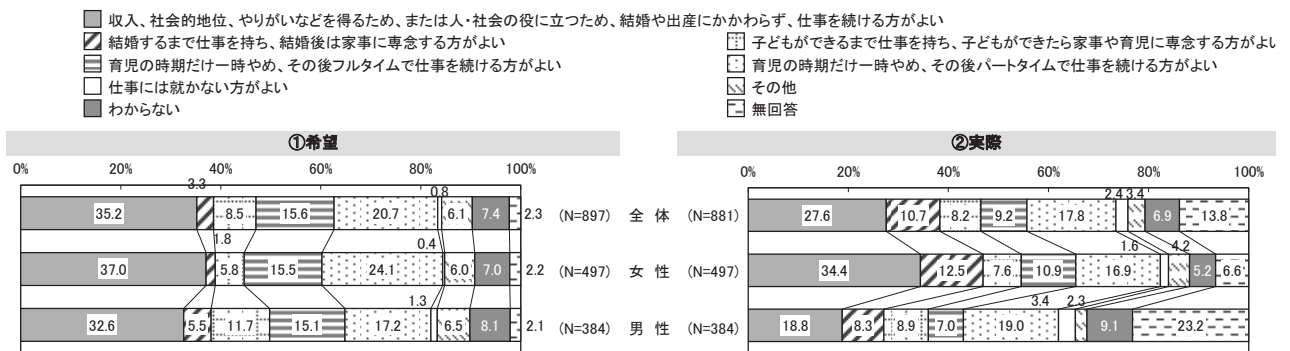
- ▨ 結婚するまで仕事をもち、結婚後は家事に専念する
- ▨ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける
- 仕事には就かない
- 無回答



## 【前回調査（平成 27 年）】



## 【大阪府調査（男女共同参画に関する府民意識調査（令和元年））】



【問 10 (P. 8 参照) で専業主婦・主夫または無職と回答された方に質問】

問 10-1 現在働いていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

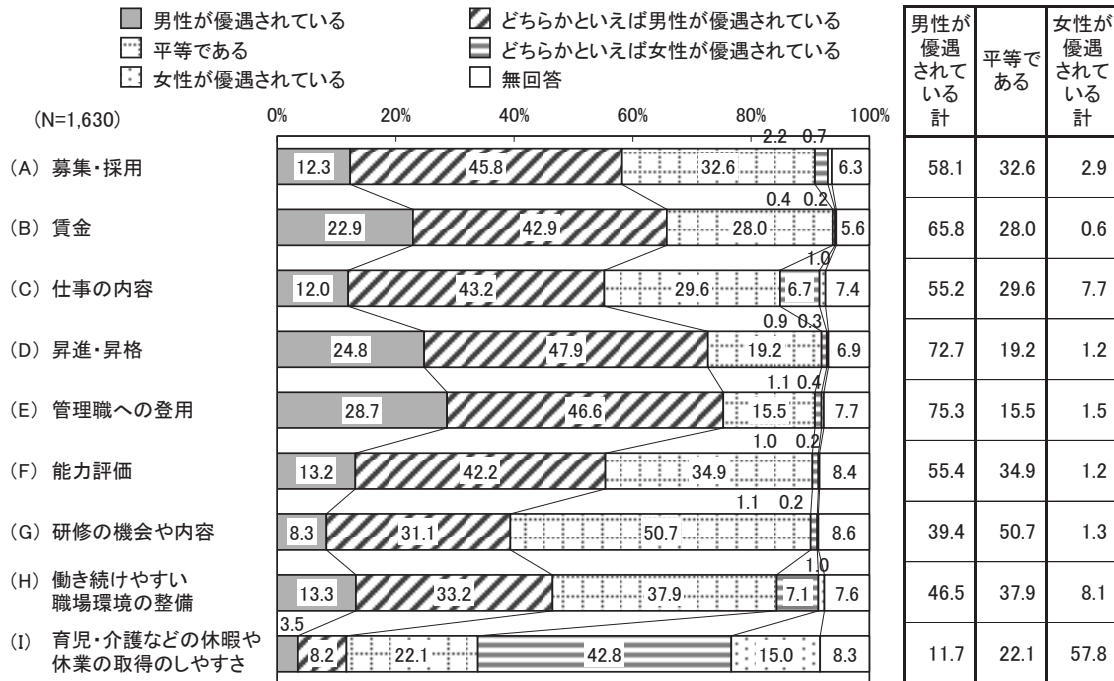
女性は男性に比べて「家事・育児に専念したかったから」「仕事と家庭の両方をうまくやっていく自信がないから」が5ポイント以上高い。

(単位: %)	全体 N=476	女性 N=315	男性 N=123
今は働きたいとは思わないから	19.7	19.0	23.6
家事・育児に専念したかったから	13.2	18.7	0.8
仕事内容、勤務場所、勤務時間等について条件に合う働き口が見つからないから	8.0	8.3	8.1
仕事と家庭の両方をうまくやっていく自信がないから	7.8	10.8	1.6
失業したから	6.5	5.4	9.8
介護・看護に専念したかったから	4.4	4.4	3.3
仕事に必要な知識や能力が備わっているか不安を感じるから	4.2	3.8	4.9
働くことで家族に迷惑がかかると感じるから	3.8	4.1	1.6
働くことについて配偶者、パートナー等家族の協力が得られないから	3.6	4.4	1.6
家事・育児について、配偶者、パートナー等家族の協力が得られないから	2.5	3.5	0.0
介護・看護について、配偶者、パートナー等家族の協力が得られないから	0.6	0.6	0.0
介護・看護について、施設やサービスを利用できなかったから	0.6	0.3	0.8
保育施設に入所できなかったから	0.4	0.6	0.0
延長保育や一時預かり、休日保育などの保育サービスが身近にないから	0.4	0.6	0.0
その他※	46.2	42.2	55.3
無回答	4.4	5.1	2.4

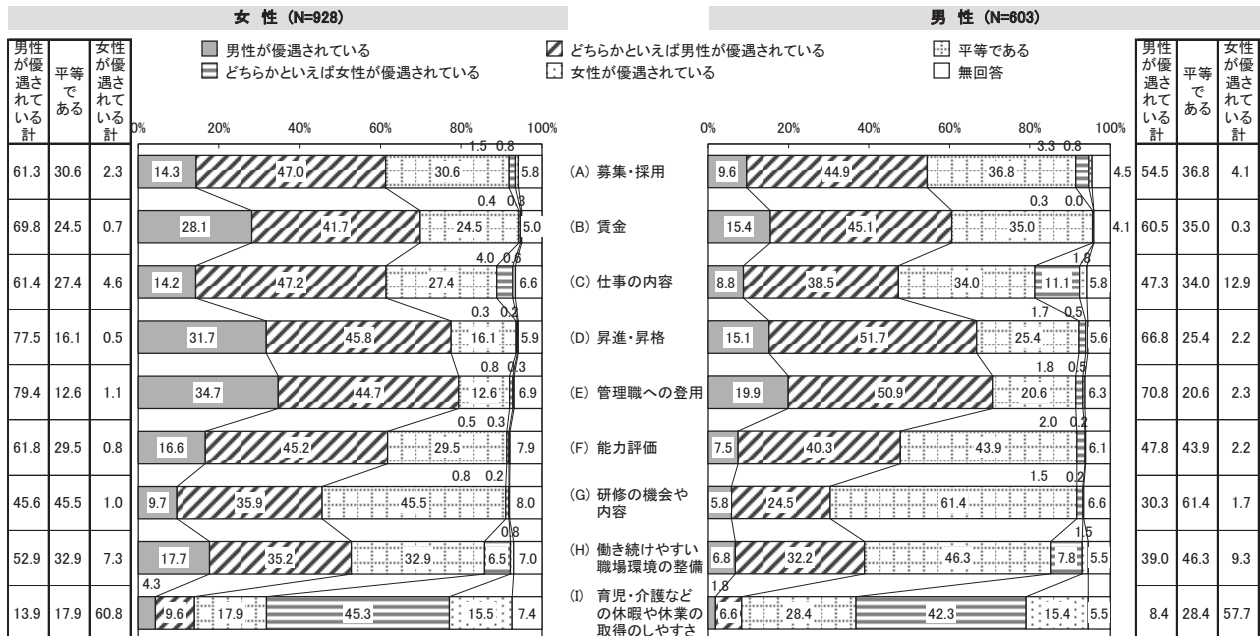
※主に「年金暮らしだから」「定年退職」「高齢の為」という意見がありました。

問 11 あなたは、仕事に関する次のことについて、性別による差があると思いますか。  
(それぞれ〇は一つ)

いずれの項目も女性の“男性が優遇されている計”の割合は男性に比べて5ポイント以上高い。  
また、いずれの項目も男性の「平等である」の割合は女性に比べて高い。

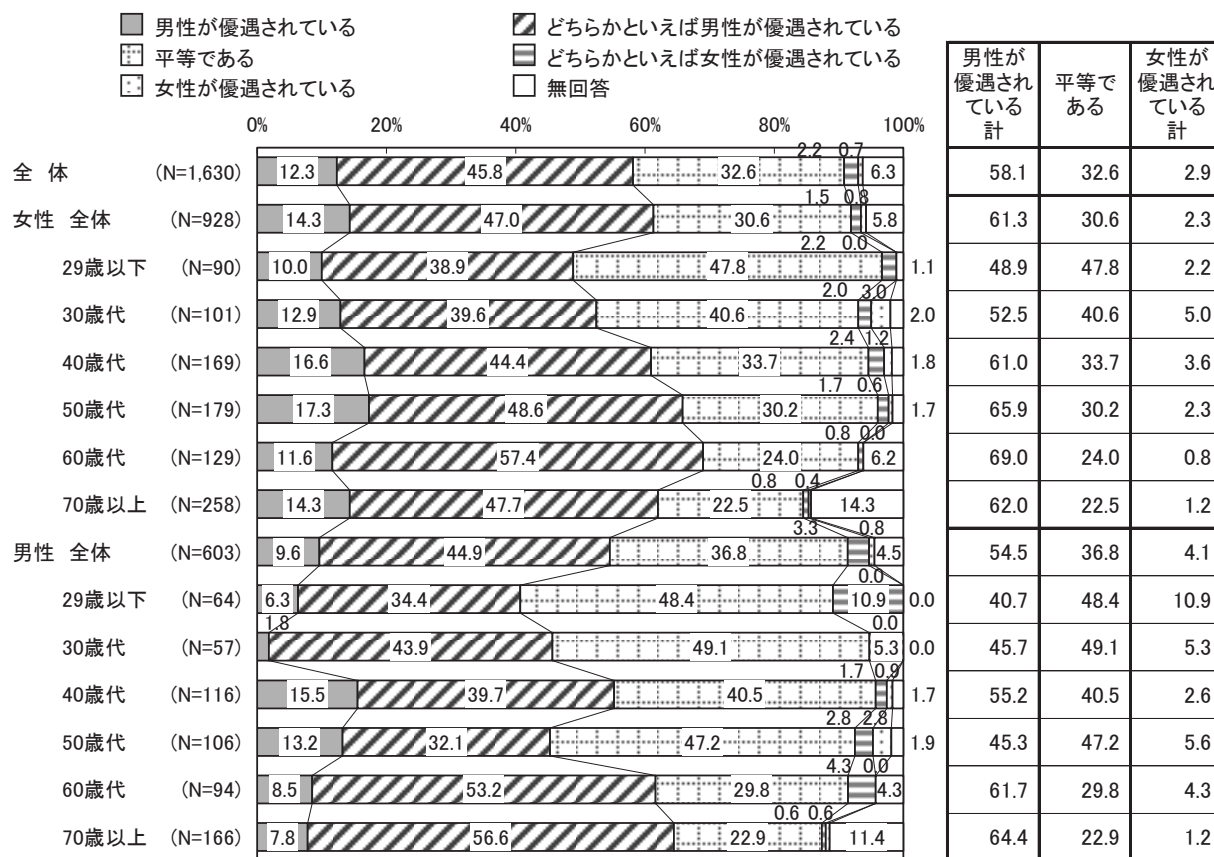


※男性が優遇されている計：「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」をあわせた値  
女性が優遇されている計：「女性が優遇されている」「どちらかといえば女性が優遇されている」をあわせた値

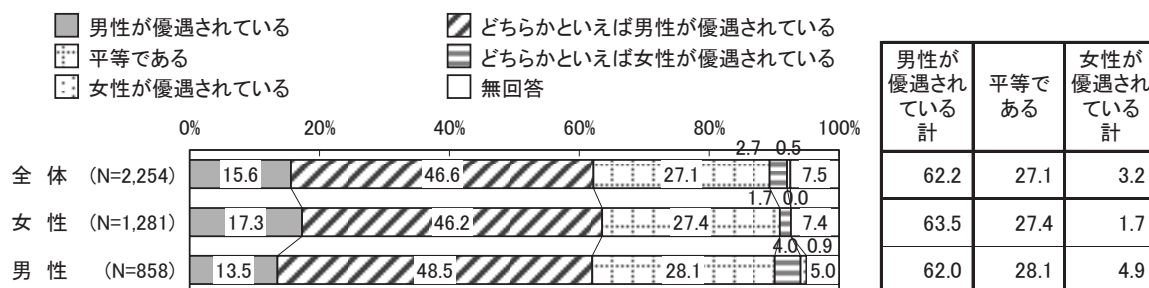


### (A) 募集・採用

性・年代別にみると、“男性が優遇されている計”の割合は40歳代以上女性、60歳代以上男性で60%を超えている。60歳代以下女性の“男性が優遇されている計”の割合が男性に比べて高く、50歳代で男女差がより大きい。



### 【前回調査（平成27年）】

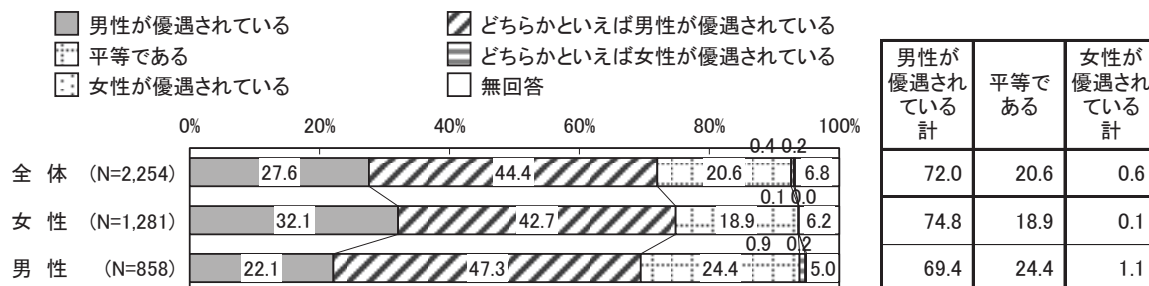


## (B) 賃金

性・年代別にみると、“男性が優遇されている計”の割合は40歳代以上女性、60歳代以上男性で60%を超えている。60歳代以下女性の“男性が優遇されている計”の割合が男性に比べて高く、30歳代、50歳代で男女差がより大きい。また、全ての年代で男性の「平等である」の割合は女性に比べて高く、30歳代から60歳代で男女差がより大きい。

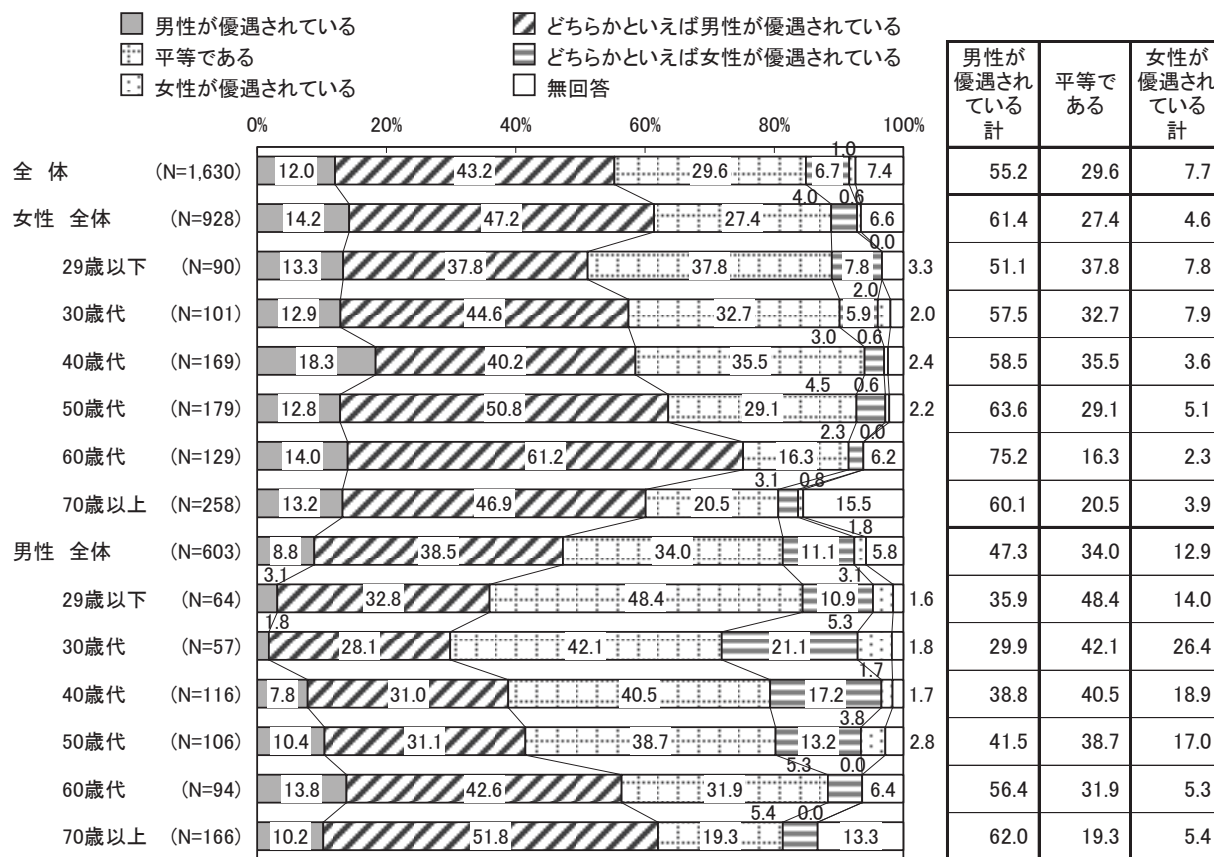


## 【前回調査（平成27年）】

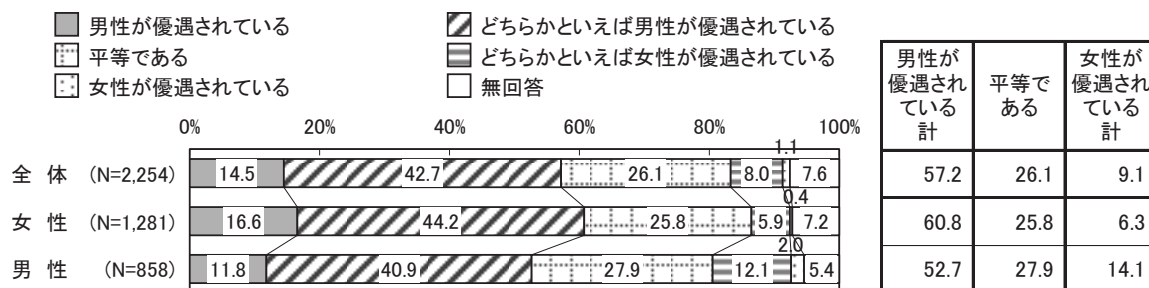


(C) 仕事の内容

性・年代別にみると、女性では全ての年代で“男性が優遇されている計”の割合が50%を超えている。男性では60歳代以上で“男性が優遇されている計”が50%を超えているが、40歳代以下では“男性が優遇されている計”よりも“平等である”の割合が高い。



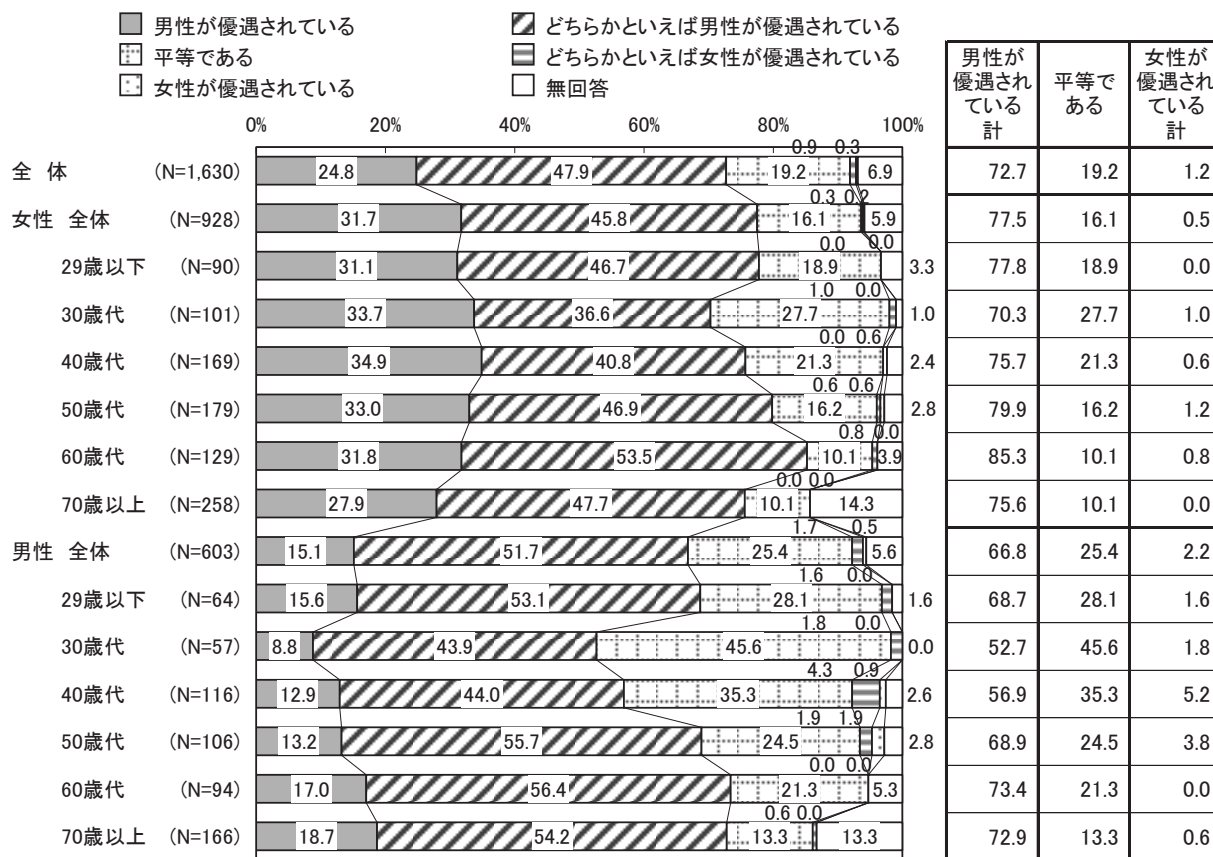
【前回調査（平成27年）】



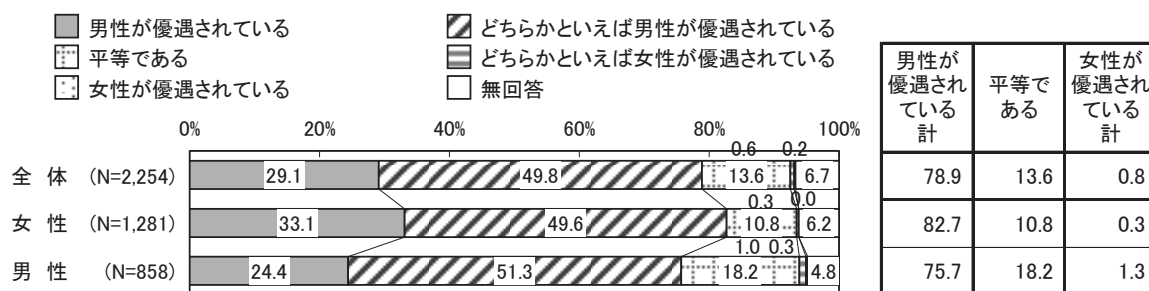


(D) 昇進・昇格

性・年代別にみると、“男性が優遇されている計”の割合は女性では全ての年代で70%を超えているのに対して、男性は50歳代以下で70%を下回る。全ての年代で女性の“男性が優遇されている計”の割合が男性に比べて高く、30歳代から40歳代で男女差がより大きい。

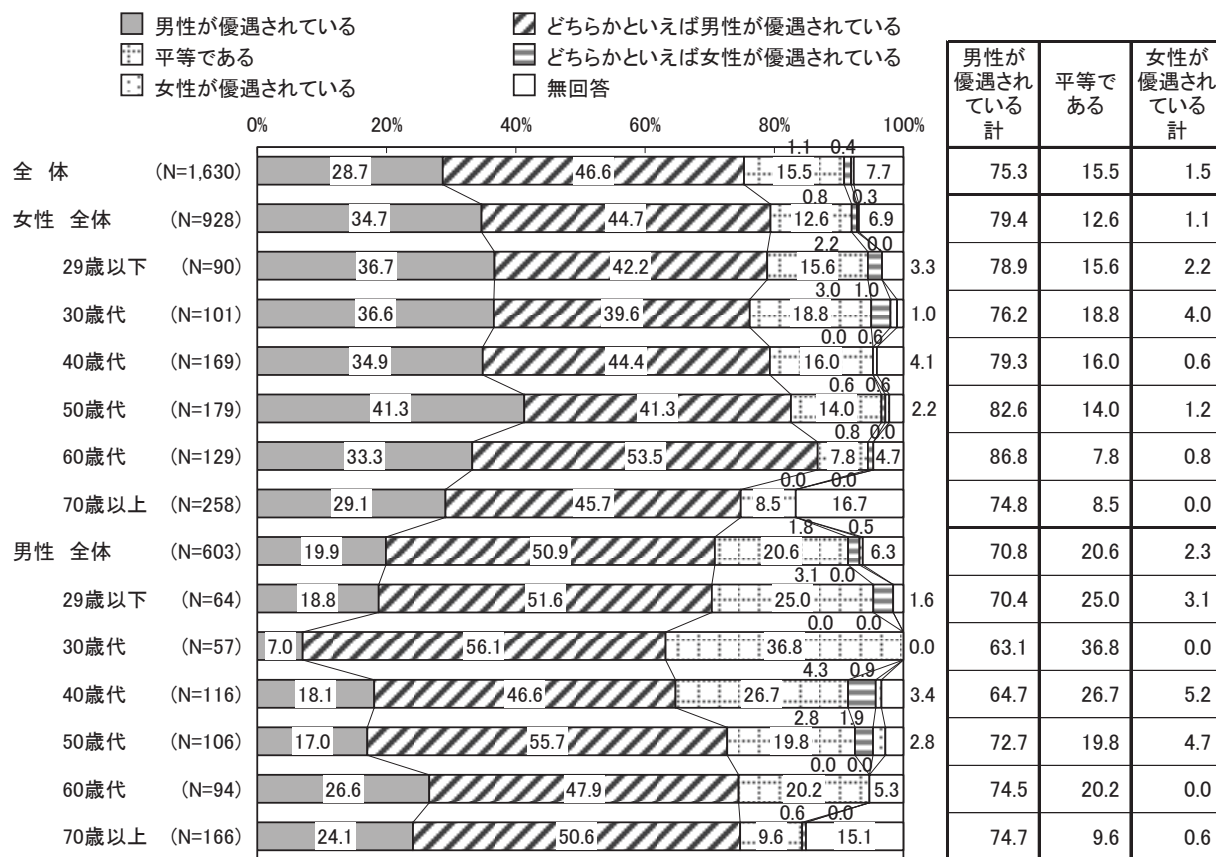


【前回調査（平成27年）】

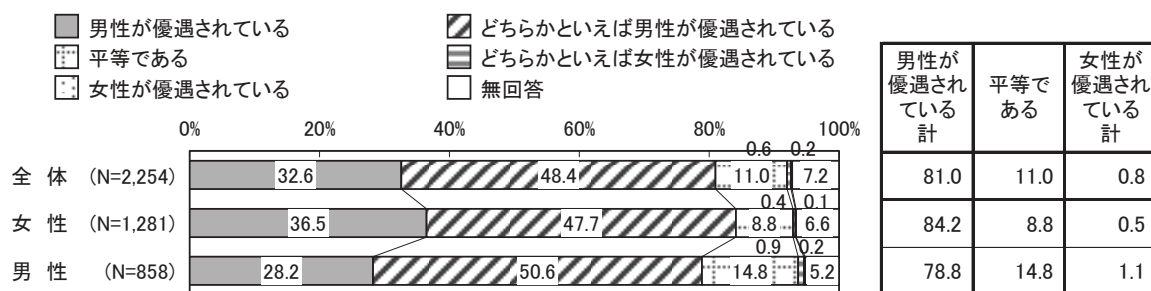


(E) 管理職への登用

性・年代別にみると、“男性が優遇されている計”の割合は女性では全ての年代で70%を超えているのに対して、男性は30歳代、40歳代で70%を下回る。全ての年代で女性の“男性が優遇されている計”の割合が男性に比べて高く、30歳代、40歳代、60歳代で男女差がより大きい。



【前回調査（平成27年）】

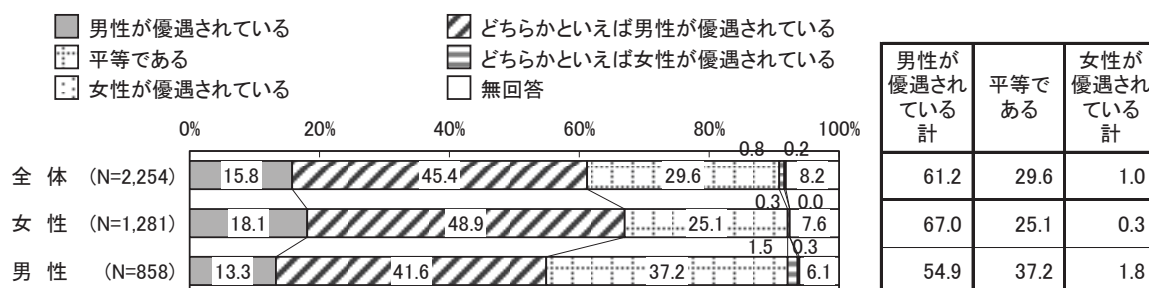


(F) 能力評価（業績評価・人事考課など）

性・年代別にみると、“男性が優遇されている計”の割合は30歳代以上女性、60歳代男性で60%を超えている。全ての年代で女性の“男性が優遇されている計”の割合が男性に比べて高く、30歳代から40歳代で男女差が20ポイント以上と大きい。また、全ての年代で男性の「平等である」の割合は女性に比べて高く、30歳代、40歳代で男女差がより大きい。



【前回調査（平成27年）】

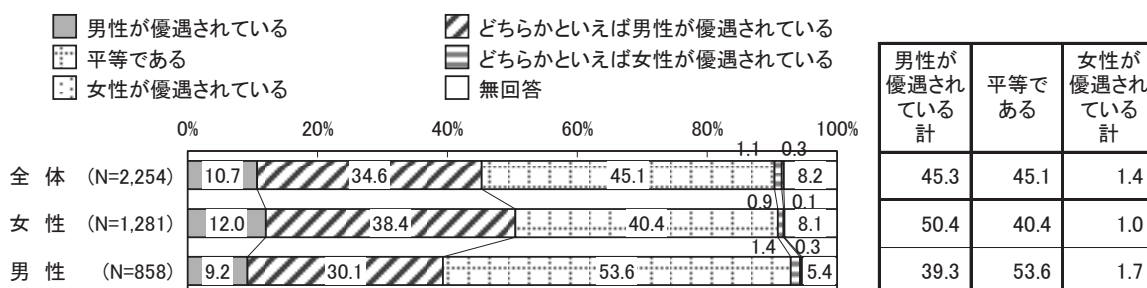


### (G) 研修の機会や内容

性・年代別にみると、“男性が優遇されている計”の割合は男女ともに年代の高い層で比較的高い割合が高い。60歳代以下女性の“男性が優遇されている計”の割合が男性に比べて高く、30歳代から40歳代で男女差が20ポイント以上と大きくなっている。また、全ての年代で男性の「平等である」の割合は女性に比べて高く、30歳代、40歳代で男女差がより大きい。

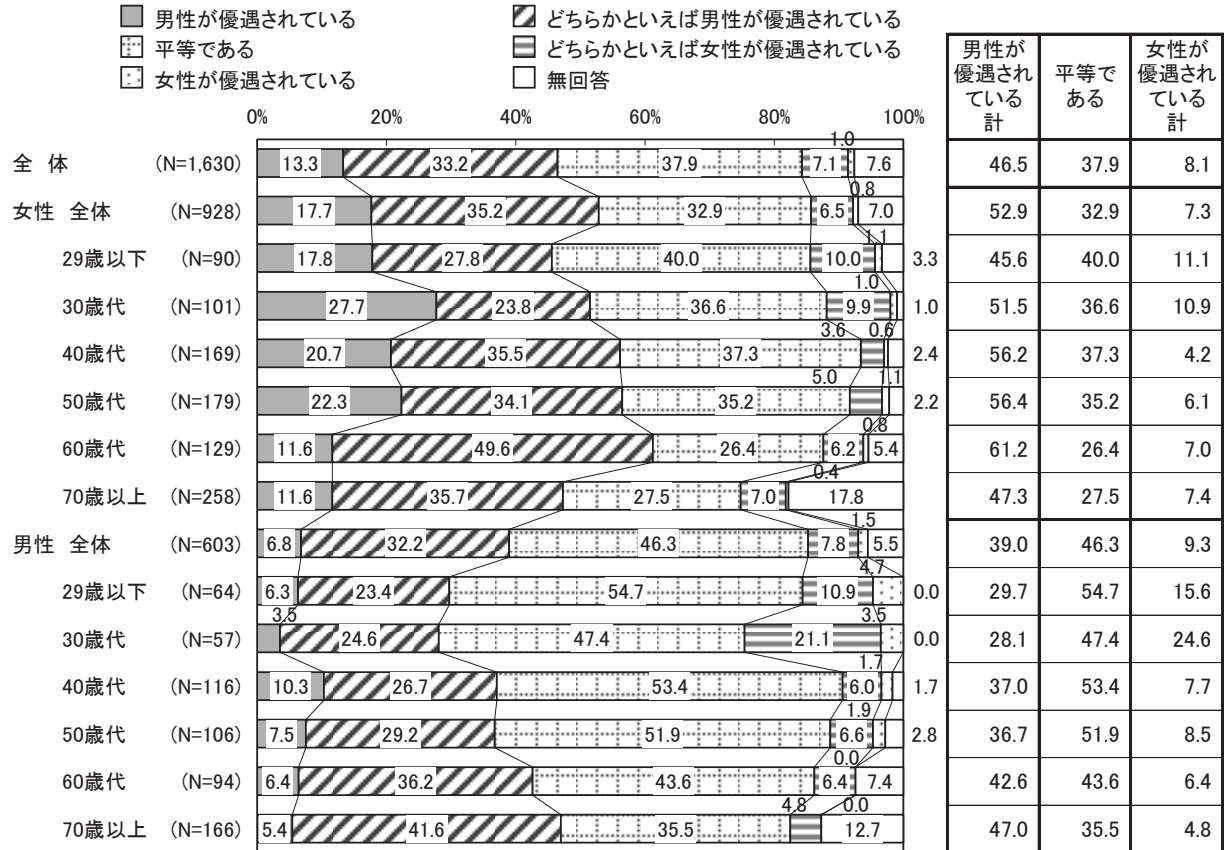


### 【前回調査（平成27年）】



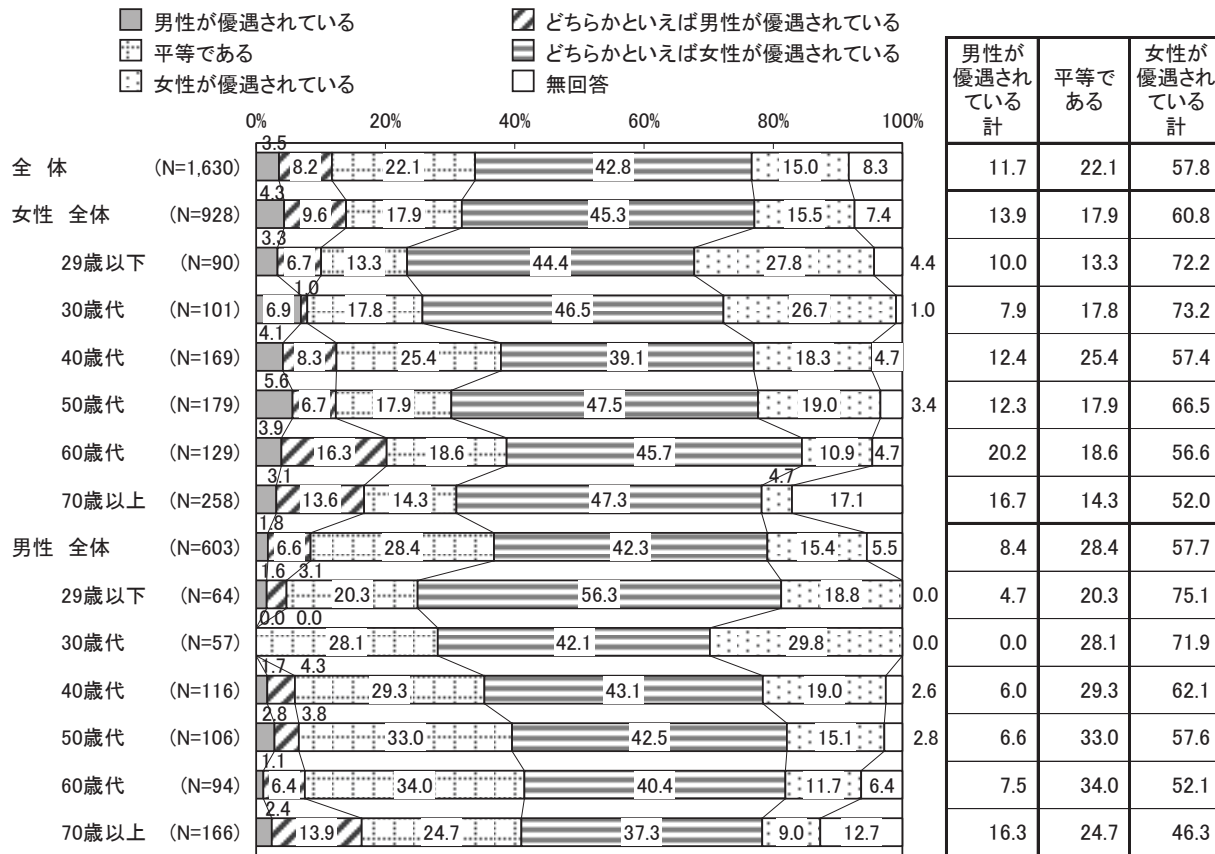
(H) 働き続けやすい職場環境の整備

性・年代別にみると、60歳代以下女性の「男性が優遇されている計」の割合が男性に比べて高く、30歳代で男女差が20ポイント以上と大きい。また、全ての年代で男性の「平等である」の割合は女性に比べて高く、40歳代、50歳代、60歳代で男女差がより大きい。

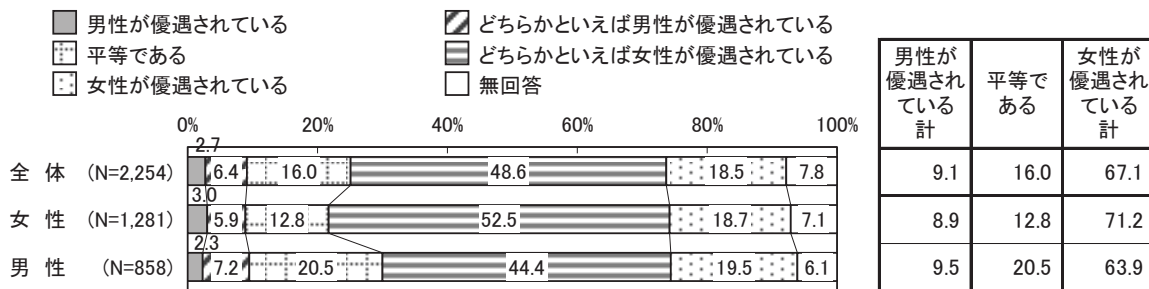


(I) 育児・介護などの休暇や休業の取得のしやすさ

性・年代別にみると、“女性が優遇されている計”の割合は男女ともに年代が低くなるほどにその割合も高く、30歳代以下で70%を超えている。30歳代、50歳代以上女性で“女性が優遇されている計”の割合が男性に比べて高い。また、全ての年代で男性の「平等である」の割合は女性に比べて高く、50歳代、60歳代で男女差がより大きい。



【前回調査（平成27年）】



問 12 男女が対等に働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
(○はいくつでも)

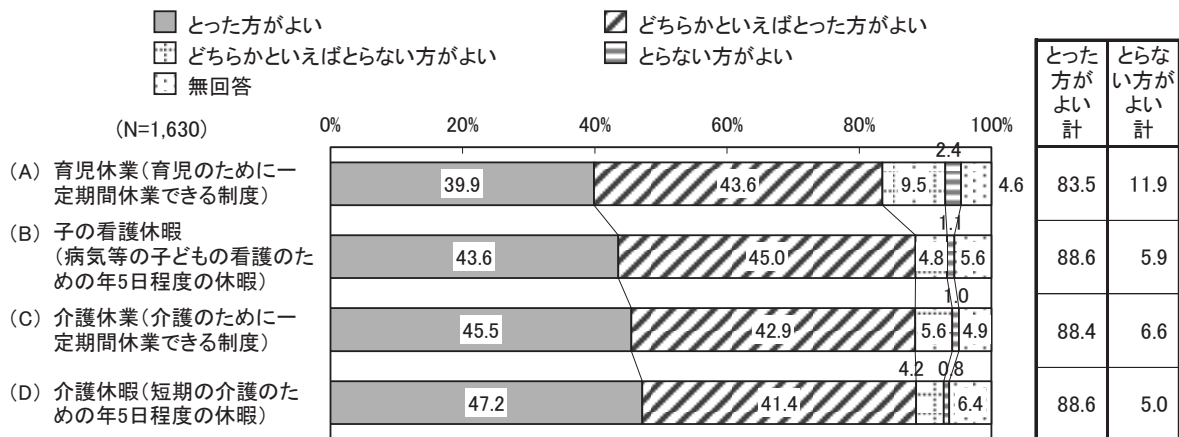
性別にみると、一部を除き概ねすべての項目で女性の割合が男性より高くなっている。

(単位: %)	今回調査			前回調査(平成27年)		
	全体 N=1,630	女性 N=928	男性 N=603	全体 N=2,254	女性 N=1,281	男性 N=858
結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場環境の整備	65.9	70.9	59.2	-	-	-
男女ともに育児・介護のための休暇や休業を取りやすいようにする	62.3	67.0	56.6	63.3	69.2	56.9
男女ともに、能力を発揮できる配置を行う	61.4	62.7	60.2	63.1	64.7	62.1
賃金、昇給の男女の格差をなくす	54.7	58.3	50.2	53.1	56.8	50.1
長時間労働を見直し、仕事と家事・育児等との両立(ワーク・ライフ・バランス)を実現する	53.4	58.2	48.3	-	-	-
短時間勤務、フレックスタイム(時差出勤)、テレワーク(在宅勤務等)など時間や場所にとらわれない柔軟な働き方の普及	47.1	52.6	40.6	-	-	-
育児・介護の施設や支援制度の充実	46.1	51.7	38.8	-	-	-
職場におけるセクシュアル・ハラスメントなどをなくす	43.4	44.7	41.8	41.4	45.8	35.5
女性の雇用機会を拡大する	40.2	41.8	39.0	45.1	46.7	44.1
男性中心の組織運営を見直し、女性の管理職への登用を進める	36.5	38.5	33.5	34.4	34.4	36.1
職場において男女が対等であるという意識を普及させる	35.0	37.1	31.5	35.6	37.3	33.6
男性自身の意識を変える	34.8	35.6	35.0	-	-	-
男女ともに、教育・研修機会を充実する	33.6	33.0	33.8	34.3	34.6	34.1
女性自身の職業に対する自覚・意欲を高める	32.2	32.5	32.0	41.4	42.1	41.8
その他	2.0	1.4	3.2	3.0	2.5	3.8
わからない	1.7	1.3	2.0	2.4	1.7	2.8
無回答	1.9	1.7	1.7	3.1	2.5	2.8

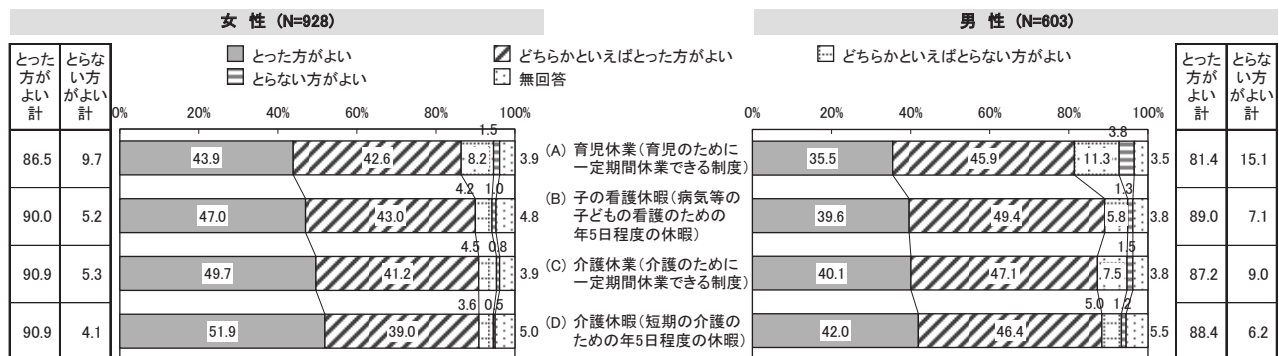
問 13 男性が、休業や休暇を取得することについてどう思いますか。  
(それぞれ〇は一つ)

性別にみると、女性の“とった方がよい計”の割合が『(A) 育児休業（育児のために一定期間休業できる制度）』で86.5%と、男性に比べて5.1ポイント高い。『(B) 子の看護休暇（病気等の子どもの看護のための年5日程度の休暇）』『(C) 介護休業（介護のために一定期間休業できる制度）』『(D) 介護休暇（短期の介護のための年5日程度の休暇）』で大きな差はみられない。

性・年代別にみると、『(A) 育児休業（育児のために一定期間休業できる制度）』『(C) 介護休業（介護のために一定期間休業できる制度）』の“とった方がよい計”の割合が40歳代女性で10ポイント以上男性に比べて高い。また、50歳代女性でも『(A) 育児休業（育児のために一定期間休業できる制度）』の“とった方がよい計”の割合が10ポイント以上男性に比べて高い。



※とった方がよい計：「とった方がよい」「どちらかといえばとった方がよい」をあわせた値  
とらない方がよい計：「とらない方がよい」「どちらかといえばとらない方がよい」をあわせた値





(単位:%)	N=	(A)育児休業 (育児のために一定期間休業できる制度)					(B)子の看護休暇 (病気等の子どもの看護のための年5日程度の休暇)									
		とった方がよい	どちらかといえどとった方がよい	どちらかといえどらない方がよい	とらない方がよい	無回答	とった方がよい計	とらない方がよい計	とった方がよい	どちらかといえどとった方がよい	どちらかといえどらない方がよい	とらない方がよい	無回答	とった方がよい計	とらない方がよい計	
全体	1,630	39.9	43.6	9.5	2.4	4.6	83.5	11.9	43.6	45.0	4.8	1.1	5.6	88.6	5.9	
女性	29歳以下	90	70.0	26.7	2.2	1.1	0.0	96.7	3.3	70.0	27.8	1.1	1.1	0.0	97.8	2.2
	30歳代	101	53.5	33.7	10.9	1.0	1.0	87.2	11.9	59.4	35.6	5.0	0.0	0.0	95.0	5.0
	40歳代	169	47.3	39.6	10.7	1.2	1.2	86.9	11.9	54.4	37.3	5.9	0.0	2.4	91.7	5.9
	50歳代	179	37.4	49.7	9.5	2.2	1.1	87.1	11.7	45.3	45.3	6.7	1.1	1.7	90.6	7.8
	60歳代	129	39.5	47.3	7.0	3.1	3.1	86.8	10.1	36.4	53.5	3.9	0.8	5.4	89.9	4.7
	70歳以上	258	35.7	45.7	7.4	0.8	10.5	81.4	8.2	36.0	47.7	2.3	1.9	12.0	83.7	4.2
	70歳以上	258	35.7	45.7	7.4	0.8	10.5	81.4	8.2	36.0	47.7	2.3	1.9	12.0	83.7	4.2
男性	29歳以下	64	60.9	28.1	9.4	1.6	0.0	89.0	11.0	68.8	26.6	3.1	1.6	0.0	95.4	4.7
	30歳代	57	61.4	29.8	7.0	1.8	0.0	91.2	8.8	64.9	29.8	3.5	1.8	0.0	94.7	5.3
	40歳代	116	31.9	44.8	15.5	5.2	2.6	76.7	20.7	38.8	50.9	6.0	2.6	1.7	89.7	8.6
	50歳代	106	32.1	44.3	15.1	5.7	2.8	76.4	20.8	37.7	48.1	9.4	0.9	3.8	85.8	10.3
	60歳代	94	33.0	52.1	11.7	2.1	1.1	85.1	13.8	39.4	53.2	6.4	0.0	1.1	92.6	6.4
	70歳以上	166	22.9	56.6	7.8	4.2	8.4	79.5	12.0	21.7	62.7	4.8	1.2	9.6	84.4	6.0
	70歳以上	166	22.9	56.6	7.8	4.2	8.4	79.5	12.0	21.7	62.7	4.8	1.2	9.6	84.4	6.0

(単位:%)	N=	(C)介護休業 (介護のために一定期間休業できる制度)					(D)介護休暇 (短期の介護のための年5日程度の休暇)									
		とった方がよい	どちらかといえどとった方がよい	どちらかといえどらない方がよい	とらない方がよい	無回答	とった方がよい計	とらない方がよい計	とった方がよい	どちらかといえどとった方がよい	どちらかといえどらない方がよい	とらない方がよい	無回答	とった方がよい計	とらない方がよい計	
全体	1,630	45.5	42.9	5.6	1.0	4.9	88.4	6.6	47.2	41.4	4.2	0.8	6.4	88.6	5.0	
女性	29歳以下	90	71.1	27.8	0.0	1.1	0.0	98.9	1.1	73.3	25.6	0.0	1.1	0.0	98.9	1.1
	30歳代	101	56.4	34.7	7.9	0.0	1.0	91.1	7.9	58.4	34.7	5.0	0.0	2.0	93.1	5.0
	40歳代	169	57.4	35.5	4.7	0.0	2.4	92.9	4.7	61.5	32.5	3.6	0.0	2.4	94.0	3.6
	50歳代	179	45.3	46.4	5.6	1.7	1.1	91.7	7.3	50.3	43.0	5.0	1.1	0.6	93.3	6.1
	60歳代	129	46.5	45.0	4.7	0.0	3.9	91.5	4.7	48.1	43.4	3.9	0.0	4.7	91.5	3.9
	70歳以上	258	39.5	46.1	3.9	1.2	9.3	85.6	5.1	39.1	44.2	3.1	0.8	12.8	83.3	3.9
	70歳以上	258	39.5	46.1	3.9	1.2	9.3	85.6	5.1	39.1	44.2	3.1	0.8	12.8	83.3	3.9
男性	29歳以下	64	59.4	31.3	6.3	3.1	0.0	90.7	9.4	65.6	29.7	3.1	1.6	0.0	95.3	4.7
	30歳代	57	63.2	33.3	3.5	0.0	0.0	96.5	3.5	64.9	31.6	3.5	0.0	0.0	96.5	3.5
	40歳代	116	36.2	46.6	12.1	2.6	2.6	82.8	14.7	39.7	48.3	6.9	2.6	2.6	88.0	9.5
	50歳代	106	41.5	46.2	8.5	0.9	2.8	87.7	9.4	42.5	47.2	6.6	0.9	2.8	89.7	7.5
	60歳代	94	44.7	46.8	5.3	1.1	2.1	91.5	6.4	47.9	43.6	4.3	0.0	4.3	91.5	4.3
	70歳以上	166	24.1	59.0	6.6	1.2	9.0	83.1	7.8	22.9	57.8	4.2	1.2	13.9	80.7	5.4
	70歳以上	166	24.1	59.0	6.6	1.2	9.0	83.1	7.8	22.9	57.8	4.2	1.2	13.9	80.7	5.4

【前回調査（平成27年）】

(単位:%)	N=	(A)育児休業 (育児のために一定期間休業できる制度)					(B)子の看護休暇 (病気等の子どもの看護のための年5日程度の休暇)								
		とった方がよい	どちらかといえどとった方がよい	どちらかといえどらない方がよい	とらない方がよい	無回答	とった方がよい計	とらない方がよい計	とった方がよい	どちらかといえどとった方がよい	どちらかといえどらない方がよい	とらない方がよい	無回答	とった方がよい計	とらない方がよい計
全体	2,254	35.0	42.0	13.7	3.8	5.5	77.0	17.5	41.6	43.6	6.4	1.7	6.7	85.2	8.1
女性 全体	1,281	36.6	42.3	12.9	2.6	5.6	78.9	15.5	43.9	43.5	5.5	1.0	6.2	87.4	6.5
男性 全体	858	33.2	42.8	15.5	5.4	3.1	76.0	20.9	39.9	44.4	8.5	2.4	4.8	84.3	10.9

(単位:%)	N=	(C)介護休業 (介護のために一定期間休業できる制度)					(D)介護休暇 (短期の介護のための年5日程度の休暇)								
		とった方がよい	どちらかといえどとった方がよい	どちらかといえどらない方がよい	とらない方がよい	無回答	とった方がよい計	とらない方がよい計	とった方がよい	どちらかといえどとった方がよい	どちらかといえどらない方がよい	とらない方がよい	無回答	とった方がよい計	とらない方がよい計
全体	2,254	43.1	40.4	8.8	1.7	6.0	83.5	10.5	46.5	40.5	4.8	1.2	7.0	87.0	6.0
女性 全体	1,281	46.4	39.8	7.3	0.9	5.5	86.2	8.2	49.9	40.0	3.4	0.5	6.3	89.9	3.9
男性 全体	858	39.5	42.1	11.4	2.8	4.2	81.6	14.2	43.1	42.1	7.3	2.1	5.4	85.2	9.4

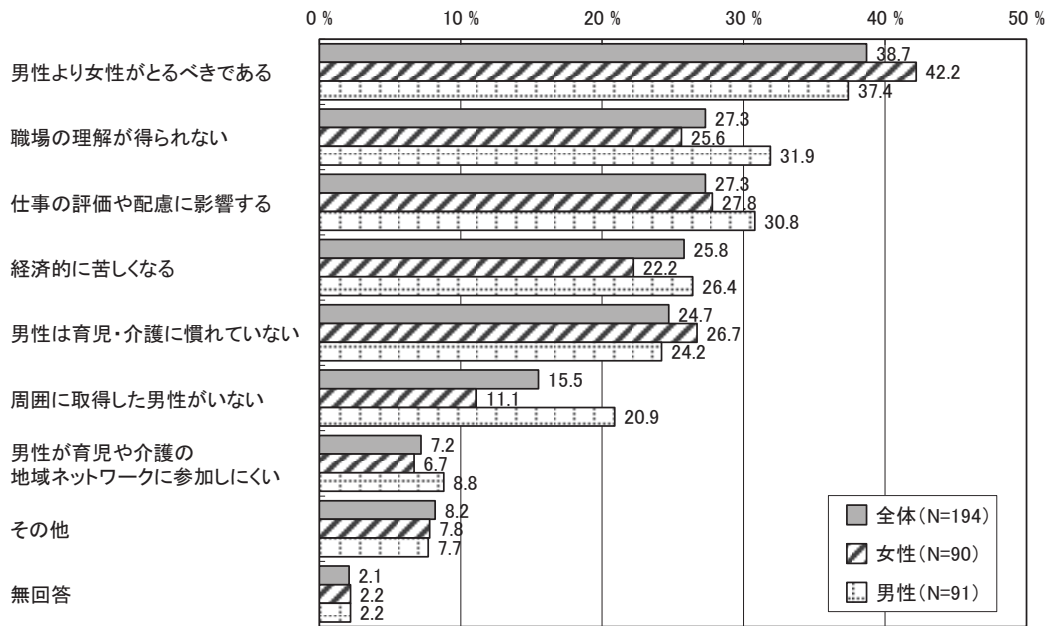
【問 13 で「とらない方がよい」「どちらかといえばとらない方がよい」と回答された方に質問】

問 13-1 それぞれとらないほうが良いと考える理由は何ですか。

問 13 A～Dで「3」または「4」と回答した項目のみお答えください。  
(それぞれあてはまるものすべてに○)

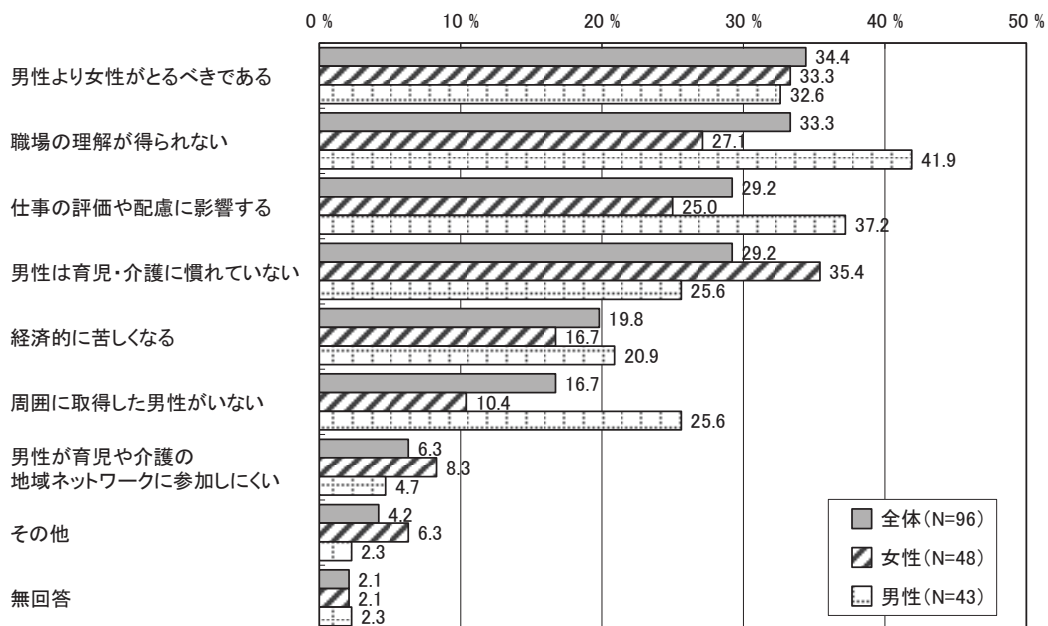
(A) 育児休業（育児のために一定期間休業できる制度）

性別にみると、男性で「周囲に取得した男性がいない」「職場の理解が得られない」の割合が女性に比べて5ポイント以上高い。



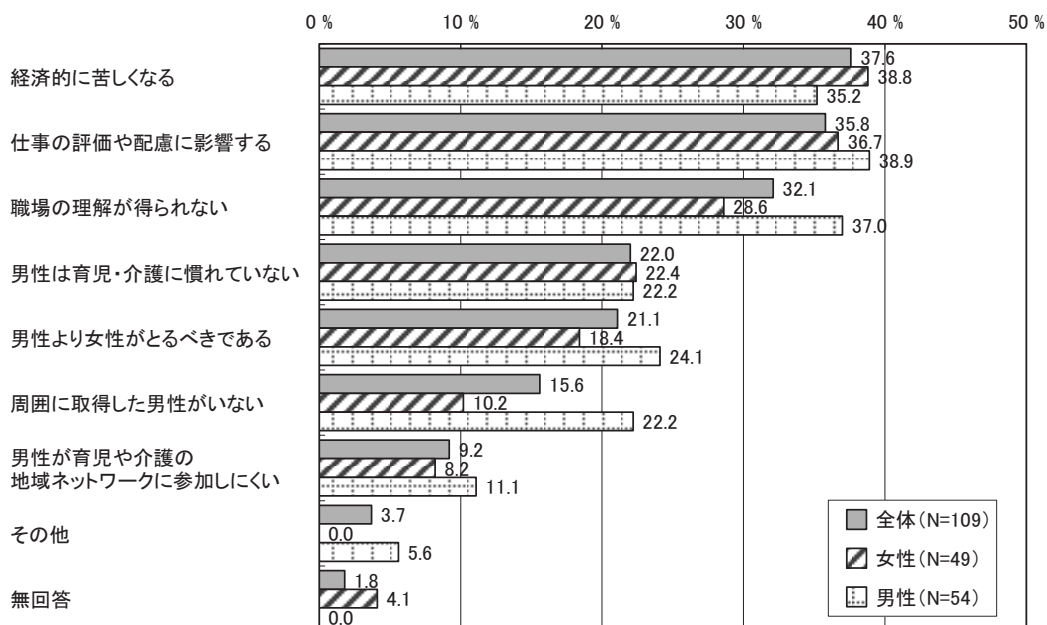
(B) 子の看護休暇（病気等の子どもの看護のための年5日程度の休暇）

性別にみると、男性で「職場の理解が得られない」「周囲に取得した男性がいない」「仕事の評価や配慮に影響する」の割合が女性に比べて10ポイント以上高い。



(C) 介護休業（介護のために一定期間休業できる制度）

性別にみると、男性で「周囲に取得した男性がない」の割合が女性に比べて10ポイント以上高い。



(D) 介護休暇（短期の介護のための年5日程度の休暇）

性別にみると、男性で「職場の理解が得られない」「仕事の評価や配慮に影響する」「経済的に苦しくなる」の割合が女性に比べて10ポイント以上高い。

